

議会閉会中の委員会活動

福祉文教委員会

協議事項 ● 新火葬場の候補地(案)について

令和2年 5月20日



江名子町

4月23日に協議事項として提出された新火葬場の候補地(案)3か所(丹生川町大萱、新宮町、清見町牧ケ洞)については、市が新火葬場建設検討委員会からの答申を検証し、答申どおり候補地としたものでありましたが、新火葬場建設検討委員会が5か所あった候補地から2か所(江名子町、西洞町)を除外したことについて、市が行った検証結果のわかる資料が不足していたため差し戻しとし、再度、除外された候補地の検証過程や内容の追加資料を求め協議を行いました。

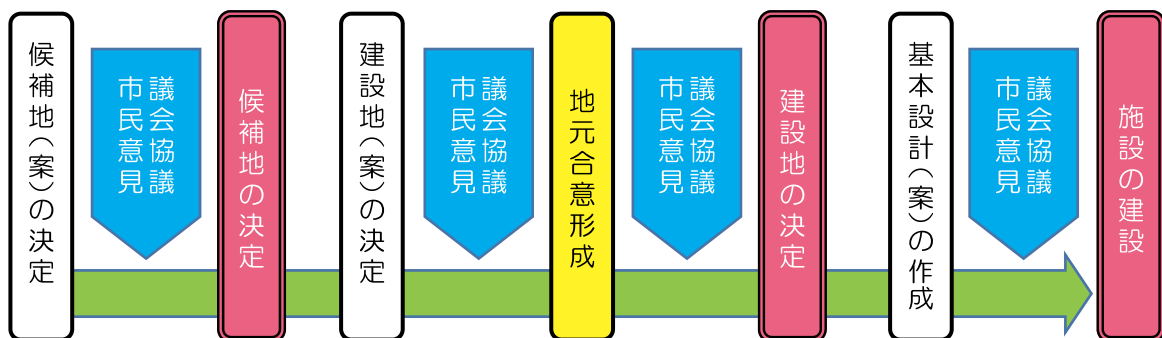
5月18日、福祉文教委員会では除外された候補地について現地視察を行うと共に、市における検証の妥当性について調査しました。

江名子町については敷地形状と面積の不足に加え、すぐ正面に立地する企業への影響が課題としてあげられています。また、西洞町については敷地の不整形と道路交通の諸事情や利用しながら建て替えをする際、周辺が急傾斜の山林によることからの面積不足等が主な除外理由となっています。

委員会では、火葬場の候補地の決定を新火葬場建設検討委員会の責任としてではなく、きちんと市の責任として行えるよう、答申から協議提出までに要したおよそ1年近い期間における市民意見や状況変化等にも行き届いた検証がなされているのかといった点や、その間の検証内容も論点として挙げ、不足とする意見も出されましたが、様々な市民意見や立地条件を統合し判断していく過程において、公平性を重んじた手法と妥当性ある判断であるとの見解を示しました。また、市では今後コストも含めた詳細な検証を進める際には、3候補地における優劣順位は設けないとの説明がありました。今後のスケジュールとしては以下の通りに進捗する旨を確認しています。



西洞町



※市民意見（パブリックコメントや市民説明会等）

委員会では引き続き、コストや建設規模、将来的視点等、より良い施設がより早く供用開始されるよう、市民の合意形成はもとより公平性と透明性を担保し、施設建設に向け進めるよう注視していきます。